



進路だより

山武市立蓮沼中学校
令和4年7月19日(水)
第10号

私立高校の入試が終わりました。これからの生活はどのように!?

私立高校の入学試験が17日(月)と18日(火)に行われ、多くの生徒のみなさんが受験をしました。今回の「進路だより」を目にする頃には、試験結果が発表になっている人もいるかもしれませんが、試験を受けてきたみなさん、保護者のみな様、お疲れ様でした。受験をしたみなさんは、これまでに味わったことがない緊張感を味わったことと思います。また、保護者のみなさんも同様に不安や緊張を経験したのではないのでしょうか。

兎にも角にも、結果が気になることはありませんが、無事に試験を迫ることができ何よりでした。ホッとしているところかもしれませんが、私立入試の結果が出てからの生活はとても苦しいものになるはずです。今回は私立高校入試が終わったあとから公立高校の入学検査までの過ごし方について触れてみたいと思います。3年生のみなさんはもちろん、1・2年生にもしっかりと読んでいただきたいと思います。

私立高校の合否の結果がわかっただけならしなければならないこと...



①めでたく合格の場合

入学の手続きを期限まで確実に行ってください。具体的には、私立高校進学が第1希望の人たちは入学金を期限までに絶対、支払ってください。また公立高校第1希望で私立高校を併願で受験し、合格をした人も同様に1次金を絶対に支払ってください。私立高校の入試は、第1希望としたら必ず、併願で受験した人は、第1希望の他校が不合格だった場合に必ず入学することを前提に受験しているので絶対に手続きを行ってください。(単願・併願共に条件がそろえば必ず入学するという約束のもと入試で優遇する措置がとられています)手続きを行っていただかないと、高校と中学校との間の信頼問題となり、その影響が現1・2年生が受験する際に影響が出ないとも限りませんのでよろしく願いいたします。

支払い方法は高校ごとに異なります。出願手続きを行ったサイトから手続きを進める高校がほとんどですが、中には銀行からの振り込みや高校へ持参するなどの方法で支払いをする高校があるので手続き方法をよく確認してお願いいたします。

また、誠に心苦しいお願いではありますが、手続きがきちんと行われているか確認するために、支払い票(支払った結果が確認できる書類)をお子様を通じて学級担任にを提示をお願いいたします。書類は確認が済みしだい、お子様を通じてお返しいたします。

※私立高校合格の発表後の問題行動



合格の結果を聞くまでは不安でたまらなかった人が、合格の結果を手にすると急に強気になって、私立高校への手続きを拒む人がいます。私立高校の合格により自信がわき、公立高校も私立高校同様に合格できると考えるのですが、それは間違いです。これまで何回も申し上げたとおり、第1希望の高校に合格できなかった場合、必ず受験した私立高校に進学するという約束のもとでの合格ですし、私立高校と公立高校の入試のシステム違いから合格者の数が全然違います。

私立高校は、受験者が第1希望の高校に合格した場合にその受験者は入学してくれないことになるので、実際には、定員よりもかなり多くの合格者を出します。一方、公立高校では、受験者は合格すれば必ず入学してくれると考えて、定員にピッタリの人数しか合格者を出しません。

緊張が強かったため、合格の知らせをうけて安心してしまふのかもしれませんが、併願での私立合格は、本命の高校へチャレンジするスタートの準備が揃った状態です。浮かれるのではなく本来の目標に向かい冷静な対応をお願いします。



②残念な結果となってしまった場合



残念な結果になってしまった場合は、私立高校の後期選抜試験を受験するのか、公立高校の受検に選択をしぼるのか、ご家庭で検討した後、学級担任に連絡をお願いいたします。心中を思うとやりきれないものがありますが、過去を振り返ったり、落ち込んでいても何も変わることはありません。次にできることに向かってがんばりましょう。

私立高校合格から公立高校入試までに行うこと...



私立高校の受験に合格した人は、その後どう生活をしたらいいでしょうか？次の2点を実行してほしいと思います。

①勉強を継続しよう!



多くの人は公立高校を第1希望にしているので、公立高校に特化した準備を進めなければなりません。つまり勉強を続けることです。私立高校を第1希望とした人は、私立高校の合格で進路が決定しました。しかしそれでも勉強を続けてください。

私立高校では、「学びなおし」「〇〇メソッド」のように名称は高校により異なりますがカリキュラムの中に中学校の学習内容を復習する時間を設けています。3年生のみなさんも中学校での学習を復習できるカリキュラムを評価して受験をした人が多くいます。

私はこのカリキュラムについて二つの考えをもっています。一つ目は、「中学校の学習内容の復習を高校の先生にやっていただいて申しわけない」という思いと、もう一つは「中学校での学習を高校で復習する必要があるの？」ということです。

どうしても復習が必要なのであれば、高校のカリキュラムに依存するのではなく、自分自身の力で苦手とすることを克服するべきだと私は思います。中学校での勉強内容でのことなので、もちろん中学校の先生も協力をします。しかし、まずは自分の力で取り組んでみなければ進歩はありません。高校へ入学するまでの残された時間を有効に復習の時間に使ってください。公立高校を受検する人も同様です。入試が終わったからといって、いつまでものんびりするのはなく、4月からの新生活に備えて、中学校の学習内容をしっかり復習しましょう。

②友だちのために何ができるか考えて行動しよう!



私立高校の受験に合格し進路が決まったみなさん、以前に学級でお話したことですが、高校入試はチーム戦です。高校入試は公立、私立双方に入試日程があって、1月早々に進路が決定する人もいれば、決定が3月になる人もいます。だから心の底から喜び合えるのは3Aのメンバー全員の進路が決定してからです。進路が早々に決まった人たちにお願いします。公立高校の入試をひかえている人たちが入試に集中できるように協力してあげてください。クラス全員で入試に向かっていくことができるような雰囲気を作ってあげてください。クラスの中でみなさんができることを見つけて実行していきましょう。

困難をいかにして乗り越えていくのか、その姿を1・2年生に見せることで進路選択に向かう心がけを伝えてほしいと思います。

1・2年生のみなさんへ



「進路だより9号」で書きましたが、家庭学習（自学）に取り組むことができているでしょうか？担任の先生や学習委員に追い立てられ自学ノートを提出しているということはないですか？またノート1ページにただひたすら漢字や英語の単語を書き殴っているだけの人はいないでしょうか？勉強は1日ノート何ページががんばったとか、同様に何時間ががんばったから成果がでるというわけではありません。勉強の成果を上げるには、「正しい努力」をすることが大切です。どのような取り組み方が正しい努力なのかは、人それぞれで何通りもあると思います。漢字練習、英単語練習、計算練習は毎日行い、習慣化されることが大切です。1・2年生の漢字や英単語が完全にマスターして新しい学年を迎えることができるようがんばりましょう。

